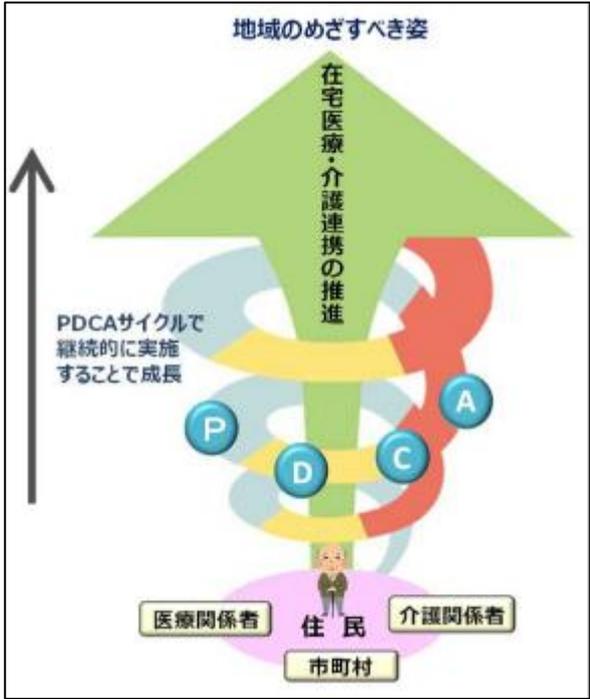
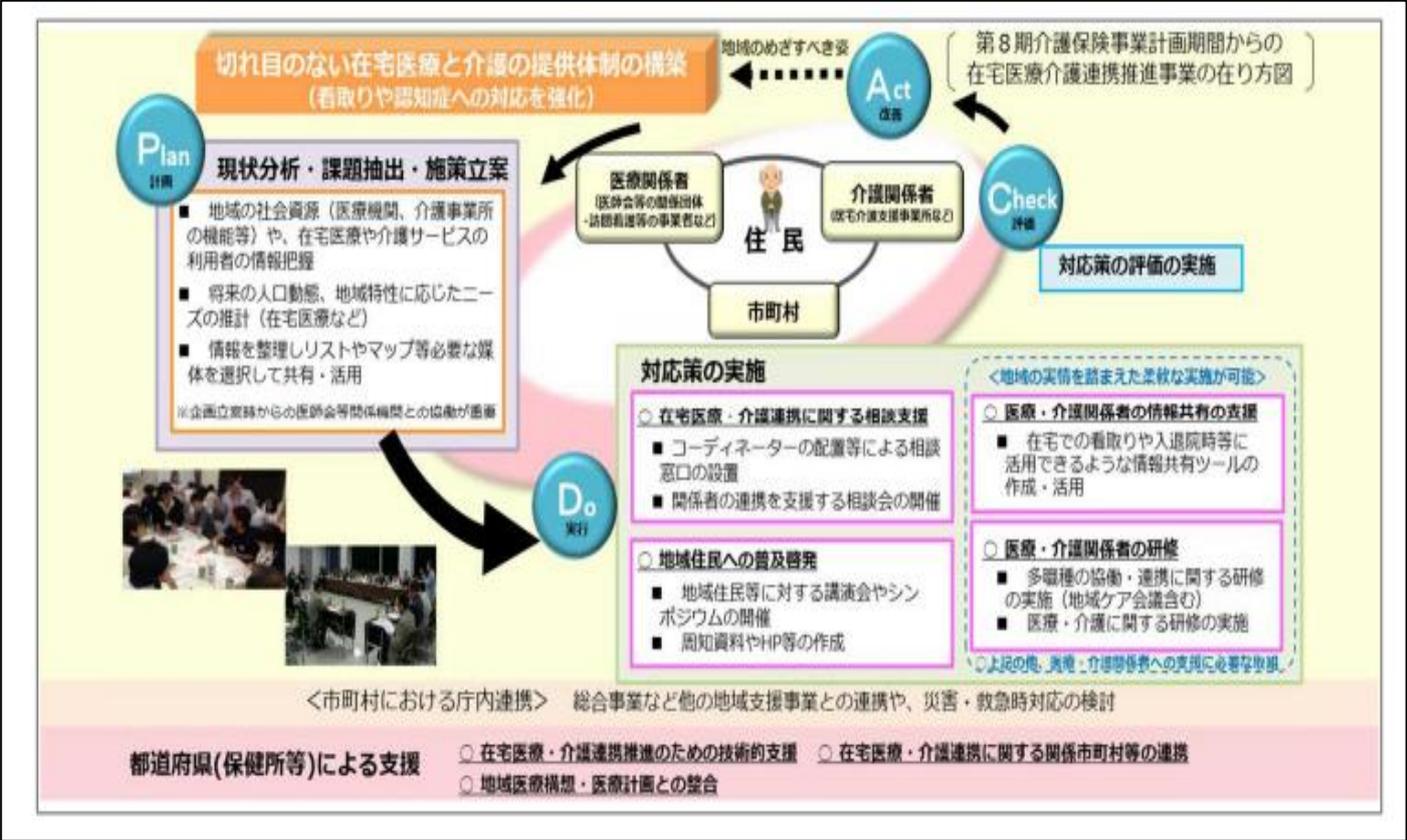


令和 7 年度吹田市在宅医療・介護連携推進事業の取組



Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)を繰り返し、現状を理想へと継続的に近づけていき、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、本事業を推進している

在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 4 (厚生労働省老健局老人保健課) より抜粋

(1) 吹田市の目指すべき姿

令和6年度より「医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面」(日常の療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取り)に分けて「目指すべき姿」を設定。

① 日常の療養支援

支援開始時から本人の希望や意向の把握に努め、多職種間での情報共有により、在宅療養が継続できる。

② 入退院支援

本人や家族の状態や意向について、入院時や退院時カンファレンスによる医療・介護関係者間の連携により、本人が希望する暮らしの場に戻り、安定的に在宅生活を継続できる。

③ 急変時の対応

本人や家族の意向の把握に努め、多職種間での情報共有により、急変時に本人の意思を尊重した対応ができる。

④ 看取り

適切なタイミングで本人や家族の意向の把握を行い、多職種間での情報共有により、本人が望む場所にて最期まで安心して過ごすことで、本人や家族が満足できる。

(2) PDCA サイクルに沿った具体的な取組

Plan 計画 現状分析・課題抽出・施策立案

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ・地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- ・情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を共有、活用 (すいた年輪サポートなび)

(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ・将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計(在宅医療など)

(3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ・地域の医療、介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

Do 実行 対応策の実施				
	作業 部会	令和6年度	作業 部会	令和7年度
在宅医療・ 介護連携に 関する 相談支援	無	1 地域包括支援センターにて在宅医療・介護連携に関する相談対応を実施 2 相談対応を踏まえ地域課題・必要な施策等の検討 ・市立吹田市民病院と事例検討会を開催	無	1 地域包括支援センターにて在宅医療・介護連携に関する相談対応を実施 2 相談対応を踏まえ地域課題・必要な施策等の検討
地域住民への普及啓発	無	1 アドバンス・ケア・プランニングに係るリーフレット等の周知	無	1 アドバンス・ケア・プランニングに係るリーフレット等の周知

		2 啓発ツールの活用促進		2 啓発ツールの活用促進
医療・介護関係者の情報共有の支援	無	1 情報共有ツールを活用した連携促進 ・利用者情報提供書の見直し 2 ICT ツールの課題や成果の共有 3 連携における課題及び解決策の検討 ・「介護認定申請をスムーズに行うためのルール」の関係機関への周知及び活用促進の働きかけ	無	1 情報共有ツールを活用した連携促進 2 ICT ツールの課題や成果の共有 3 連携における課題及び解決策の検討
医療・介護関係者の研修	有	(別紙参照) 1 ケアマネ塾の開催 2 多職種連携研修会の開催	有	(別紙参照) 1 ケアマネ塾の開催 2 多職種連携研修会の開催

Check 評価 対応策の評価の実施

第9期吹田健やか年輪プランにおける目標は以下のとおり。

- ①多職種連携研修会参加者の医療介護連携の主観的満足度：50%以上（第8期：41.4%）
- ②入退院支援加算の体制を取っている病院数：10か所（第8期：10か所）
- ③かかりつけ医のいる高齢者：95%（第8期：81.6%）
- ④かかりつけ歯科医のいる高齢者：90%（第8期：75.0%）
- ⑤かかりつけ薬局を決めている高齢者：80%（第8期：63.3%）
- ⑥人生の最終段階における医療について話し合ったことがある高齢者：70%（第8期：44.3%）
- ⑦「すいた年輪サポートナビ」の周知、内容の充実

Act 改善

前年度の取組内容を踏まえながら、吹田市ケアネット実務者懇話会の取組を継続して実施していく。

<参考資料>



すいた年輪サポートナビ

市内にある医療機関・歯科診療所・薬局に加え、吹田市をサービス提供地域にしている介護サービス事業者や、高齢者の生活サポート情報を検索することができます。



吹田市ホームページのトップページにあるこのイラストをクリック！

携帯・スマートフォンからはこちら



<https://carepro-navi.jp/suita>



※医療機関情報（医科・歯科・薬局）の検索については、全国統一の検索システム（医療情報ネット）による検索へ変更を検討中。



情報共有連絡サイト「吹田市ケア倶楽部」

市内の介護事業者と医療関係者等の情報共有のため、介護事業者向けに、市の事業に関する最新情報や国の通達、医療機関情報等をインターネットのサイト「吹田市ケア倶楽部」で発信しています。

お届け情報

介護・福祉ニュース

新着アンケート

お知らせ・情報



医療と介護の橋渡し…「情報共有ツール」

吹田市ケアネット実務者懇話会では、切れ目なく在宅医療と介護サービスを提供できるよう、医療・介護関係者等が活用できるさまざまな手段（ツール）を作っています。

利用者情報提供書

入院時等にケアマネジャー（居宅介護支援事業者）が提供するツールです。

高齢者が入院等医療を受ける時に、**その方の状況**（氏名、生年月日、介護認定区分、かかりつけ医、身体状況等）について短時間で伝えることができ、**適切な医療に結び付けることができます。**



退院前カンファレンスチェックシート

退院後、在宅療養を進めるに当たり、病院の主治医、看護師等と在宅支援スタッフ等との間で、本人の病態や状況についての情報を共有するための「退院前カンファレンス」に必要な情報項目の整理等をしたものです。

退院前カンファレンスチェックシート

これなら安心!



外来連携シート

服薬管理ができない、予約日に受診できない、新規でサービスが必要になった、医療行為が自宅でできているのか等、支援が必要な外来患者に対して、病院と在宅支援間とで情報を共有できる連携ツールです。

通院患者で支援の必要な高齢者の情報を共有し、適切な医療を受けることで高齢者が抱える慢性疾患の安定を図り、在宅生活を維持することをめざしています。

その他にも…

「大阪府入退院支援の手引き」（2018年大阪府作成）に掲載されている、情報共有ツールの活用について普及啓発を行い、入院から退院までの支援を進め、高齢者が安心して在宅生活に戻ることができる体制を整えています。



地域住民への普及啓発

自分らしく生きる
～もしものために今できること～

吹田市地域包括支援センター

大切な人とあなたの人生会議

あなたにとって、大切なことはなんですか？
もしもの時に備えて、医療・ケアについての希望や思いを
家族や医療・介護関係者と話し合ってください。それが人生会議です。
希望に沿った医療・ケアを受けながら、
最期まであなたらしく豊かに生きられるため、一緒に考えてみましょう。

大切な人
あなた
人生会議

あなたに
思ってもらいたいこと
Q1は
確認する

大切な人
あなた
人生会議

吹田市

ACP市民啓発プログラム

吹田市 × 大阪大学

人生会議 Suito

「大切な人とあなたの人生会議」

「知ってみよう 人生会議Suito」

本資料は吹田市と大阪大学の共同研究により作成したものです。
スライドの内容を無断で変更することを禁止しています。

My Life

吹田市マイエンディングノート

名前: _____

大切な人とあなたの人生会議

私の思い
記入シート

あなたにとって、大切なことはなんですか？
医療・ケアについての希望や思いを大切な人や医療・介護スタッフ
共に話し合い、最期まであなたらしく豊かに生きること…
一緒に考えてみましょう。

大切な人
あなた
人生会議

2023年4月発行
吹田市健康医療部 保健医療総務室
令和4年度吹田市地域医療推進懇話会作業部会より作成

お願記入日: 年 月 日
氏名: _____

吹田市

医療・介護関係者の研修

1 ケアマネ塾について

(1) 令和6年度の実施内容

	開催日時・場所	テーマ	講師	参加状況
第1回	令和6年8月21日(水) 午後2時～3時半	「精神疾患(妄想性障害等)及び認知症について」	大阪大学医学部 附属病院 峯瀬 大先生	66名 (37事業所) (内10包括)
第2回	令和6年11月20日(水) 午後2時～3時半	「在宅高齢者のターミナル期における特徴的な疾患(ガンや肺疾患など)」	市立吹田市民病院 中村 珠里愛先生	48名 (28事業所) (内9包括)

(2) 令和7年度の実施内容

	開催日時・場所	テーマ	講師
第1回	令和7年8月20日(水) 午後2時～3時半(オンライン)	「若年性認知症について」	大阪大学医学部附属病院 菊川 滯先生
第2回	令和7年11月20日(木) 午後2時～3時半(参集)	「在宅における緩和ケアと疼痛管理(疼痛コントロールの種類や方法)」	大阪大学医学部附属病院 山中 由芽先生

2 多職種連携研修会

(1) 令和6年度の実施内容

テーマ	「急変時に向けた連携～さらなるステップアップを目指して～」
日時	令和6年12月11日(水) 午後2時～4時 吹田市文化会館(メイシアター) 集会室
内容	(1) 講演: 「急変時に向けた連携～さらなるステップアップを目指して～」 講師: 吹田市医師会 じゅんこ内科クリニック 医師 丸山 純子氏 (2) 講演: 「吹田市消防本部警防救急室からの情報提供」 講師: 吹田市消防本部警防救急室 主幹 長嶺 秀則氏 (3) グループワーク
参加者数	96名

(2) 令和7年度の実施内容

テーマ	「医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面(日常の療養支援・入退院支援・急変時の対応・看取り)」より「急変時の対応」を取り上げる予定。
日時	令和7年12月に参集開催予定。
内容	(1) 各機関からの報告 (2) グループワーク
定員	昨年度と同様に、計100名前後の定員を想定。

内容等については事務局及び作業部会にて検討を進めていく。

<作業部会の開催日>

第1回 令和7年8月～9月

第2回 令和7年11月下旬

第3回 令和8年1月

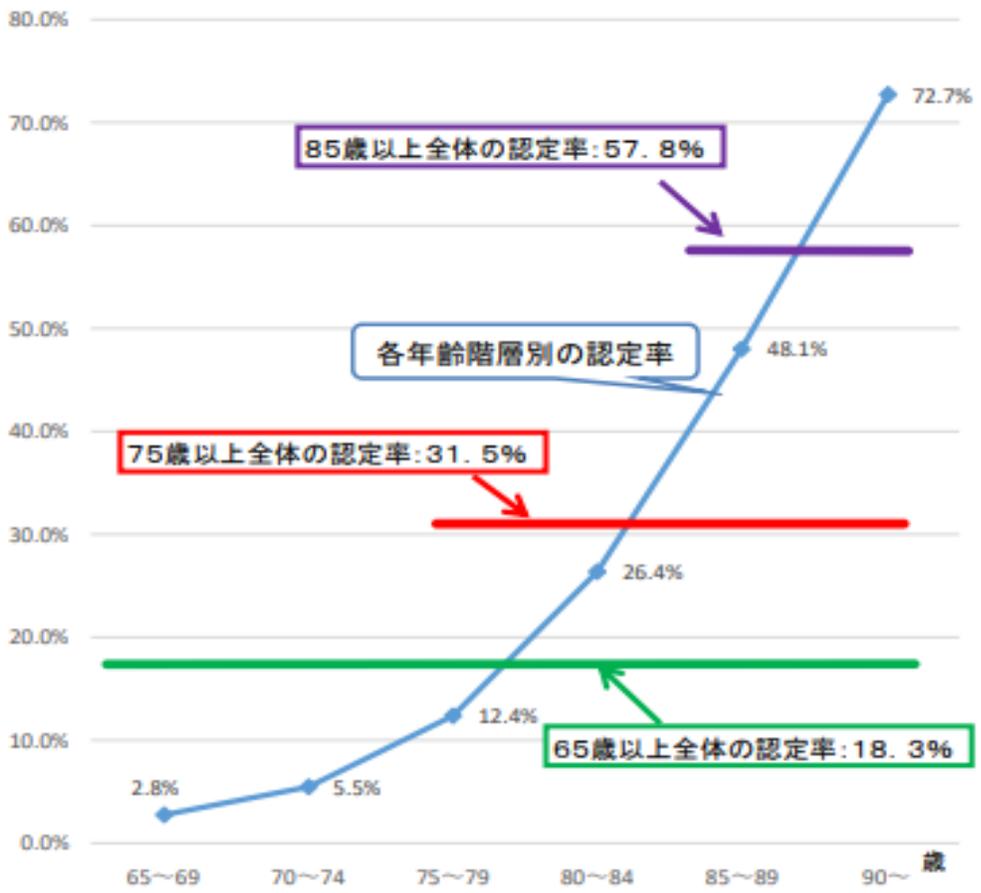
吹田市の在宅医療・介護 を取りまく状況

吹田市福祉部高齢福祉室

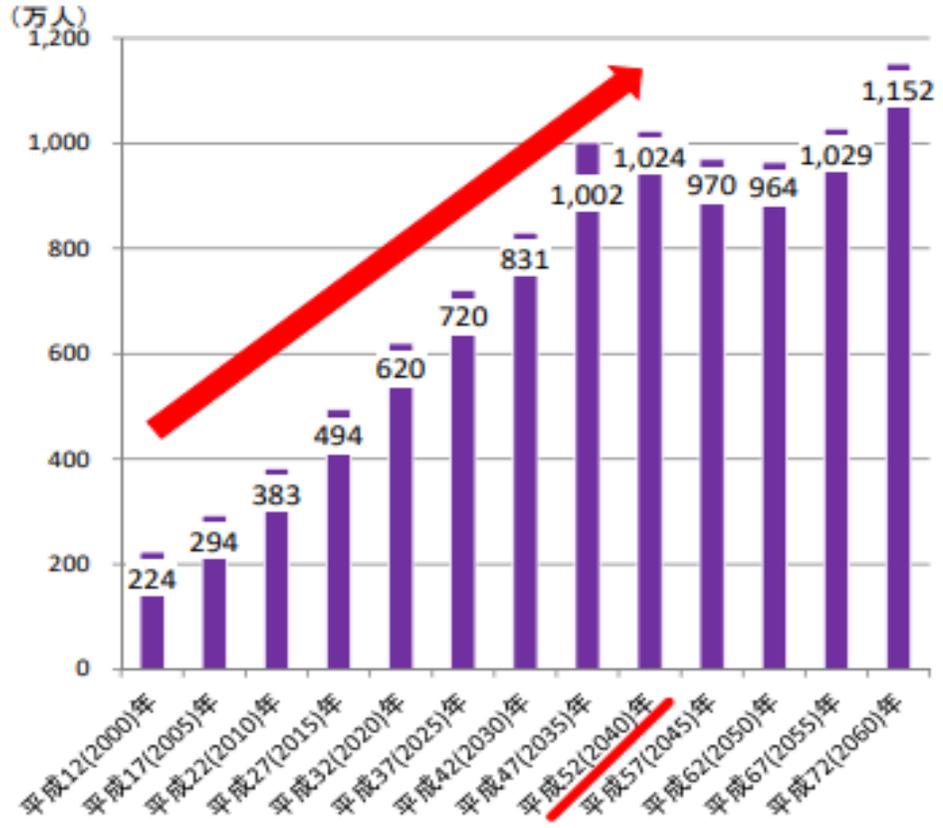
在宅・介護施設の要介護高齢者の増加(全国)

- 要介護認定率は、年齢が上がるにつれ上昇し、特に、85歳以上で上昇する。
- 85歳以上の人口は、2040年に向けて、引き続き増加が見込まれており、在宅・介護施設の要介護高齢者の増加が見込まれる。

年齢階級別の要介護認定率



85歳以上の人口の推移

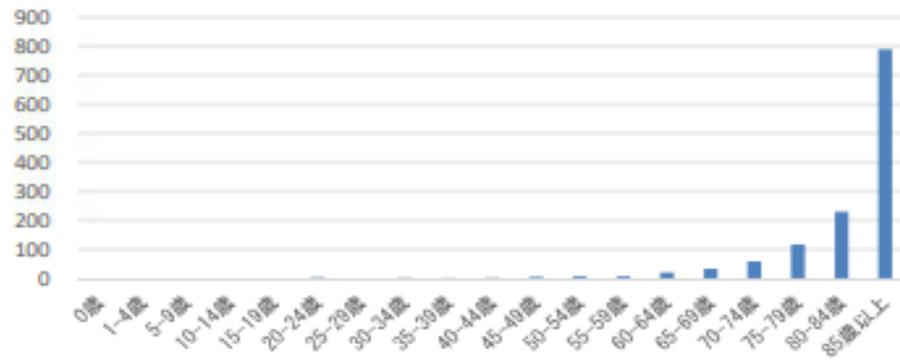


参照:厚生労働省 令和4年6月15日第3回在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ資料「在宅慰労における急変時対応及び看取り・災害時の支援体制について」

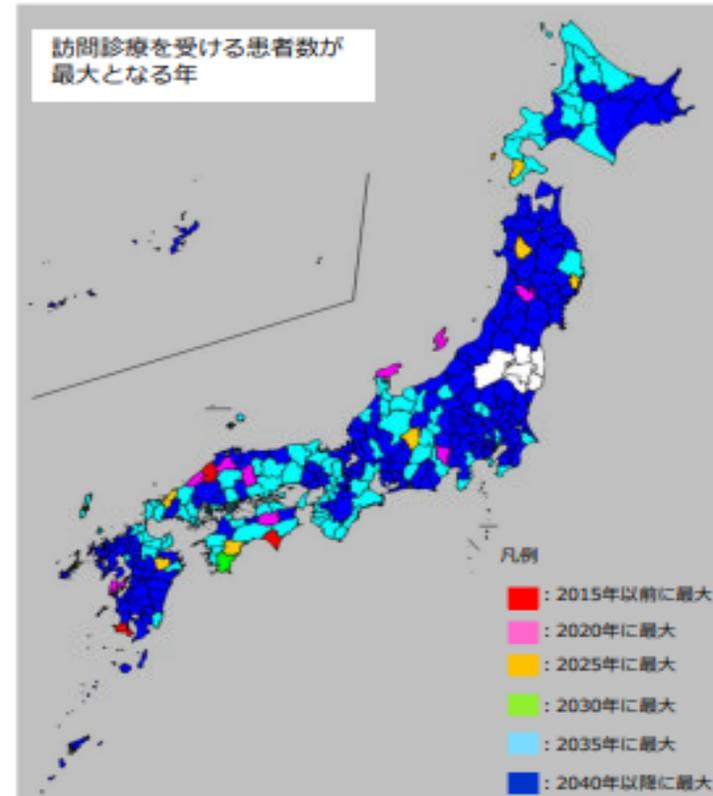
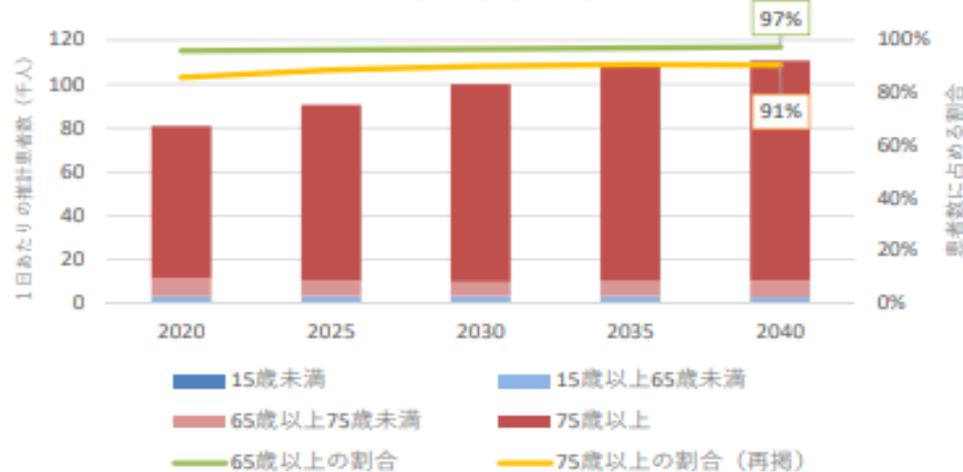
医療需要の変化 在宅患者数は、多くの地域で今後増加する(全国)

- 全国での在宅患者数は、2040年以降にピークを迎えることが見込まれる。
- 在宅患者数は、多くの地域で今後増加し、2040年以降に203の二次医療圏において在宅患者数のピークを迎えることが見込まれる。

訪問診療受療率 (人口10万対)

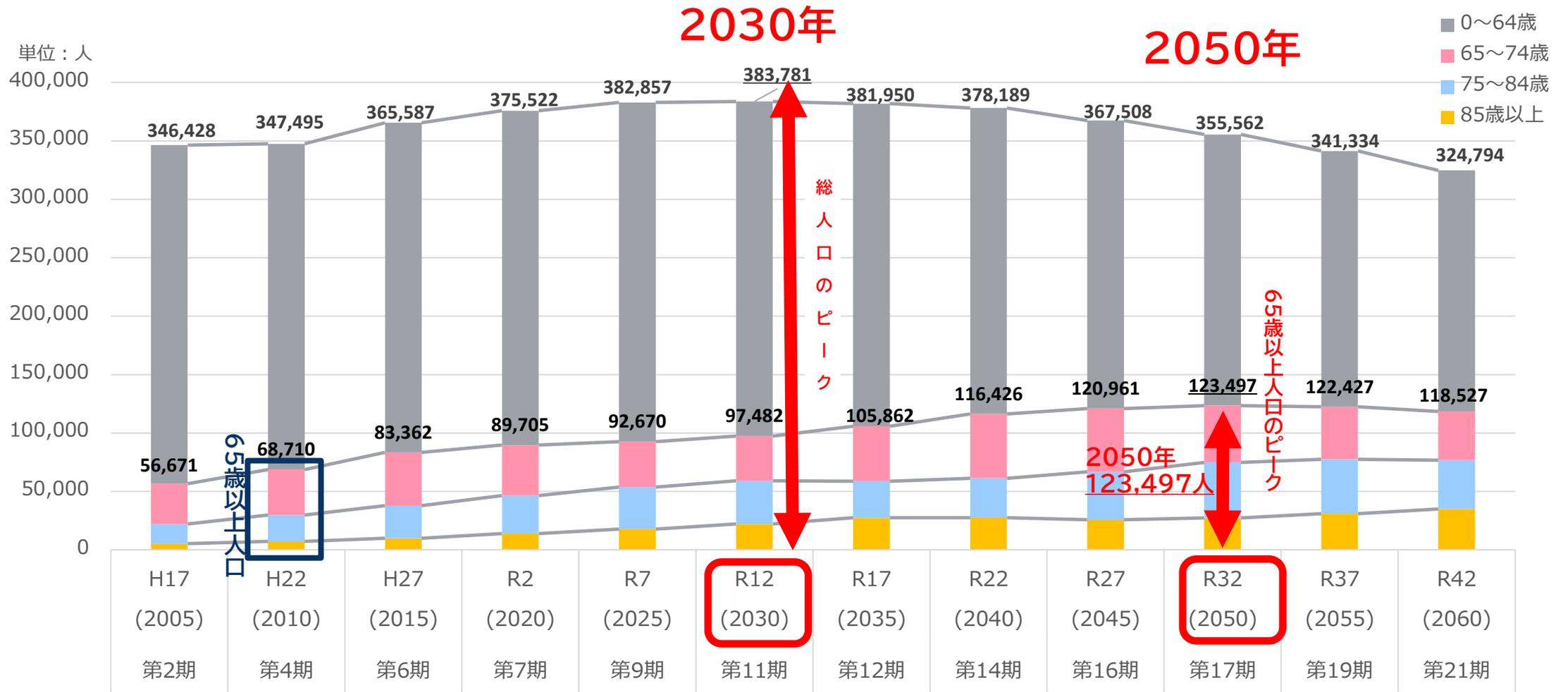


訪問診療利用者数推計

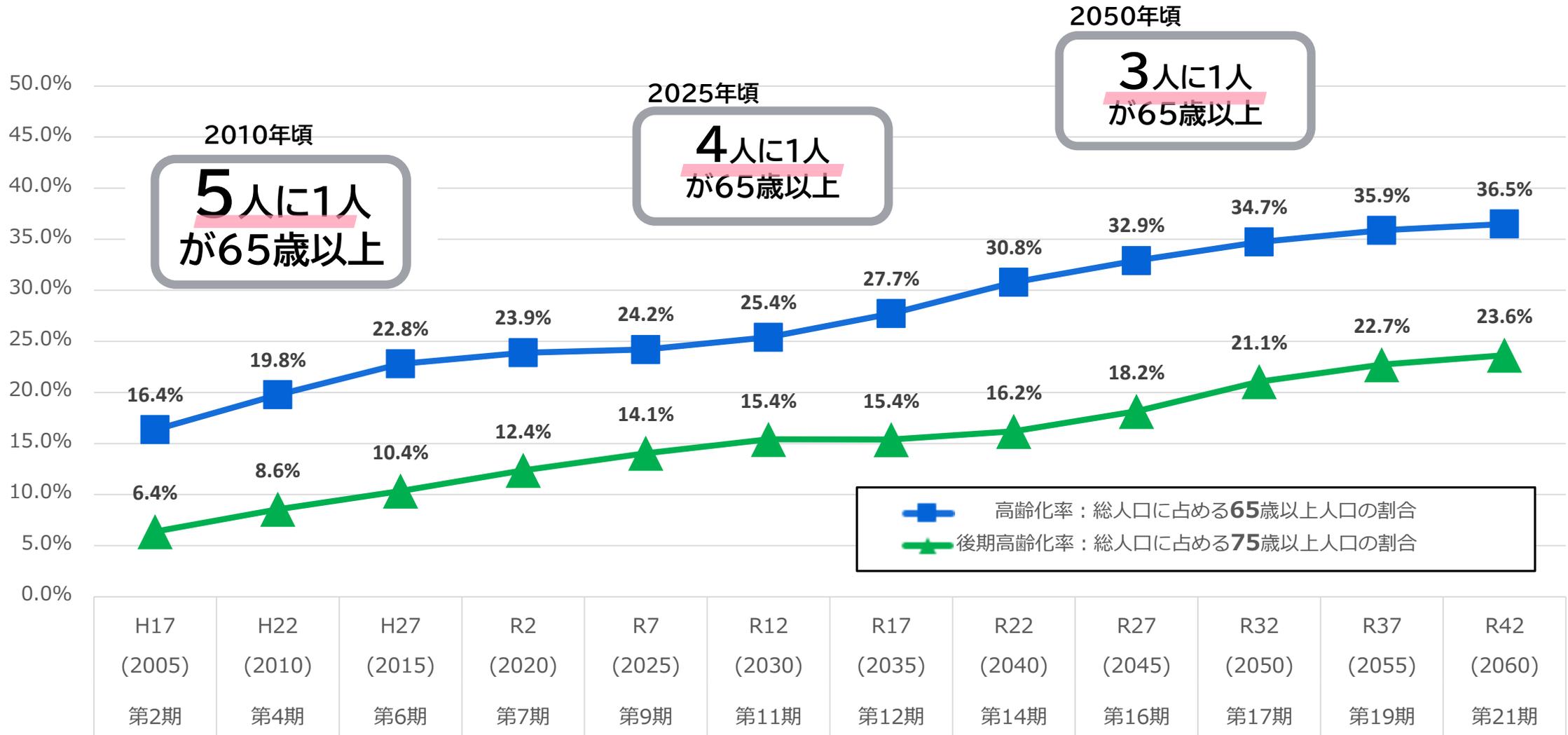


参照:厚生労働省 令和4年6月15日第3回在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ資料「在宅慰労における急変時対応及び看取り・災害時の支援体制について

65歳以上人口のピークは2050年（吹田市）



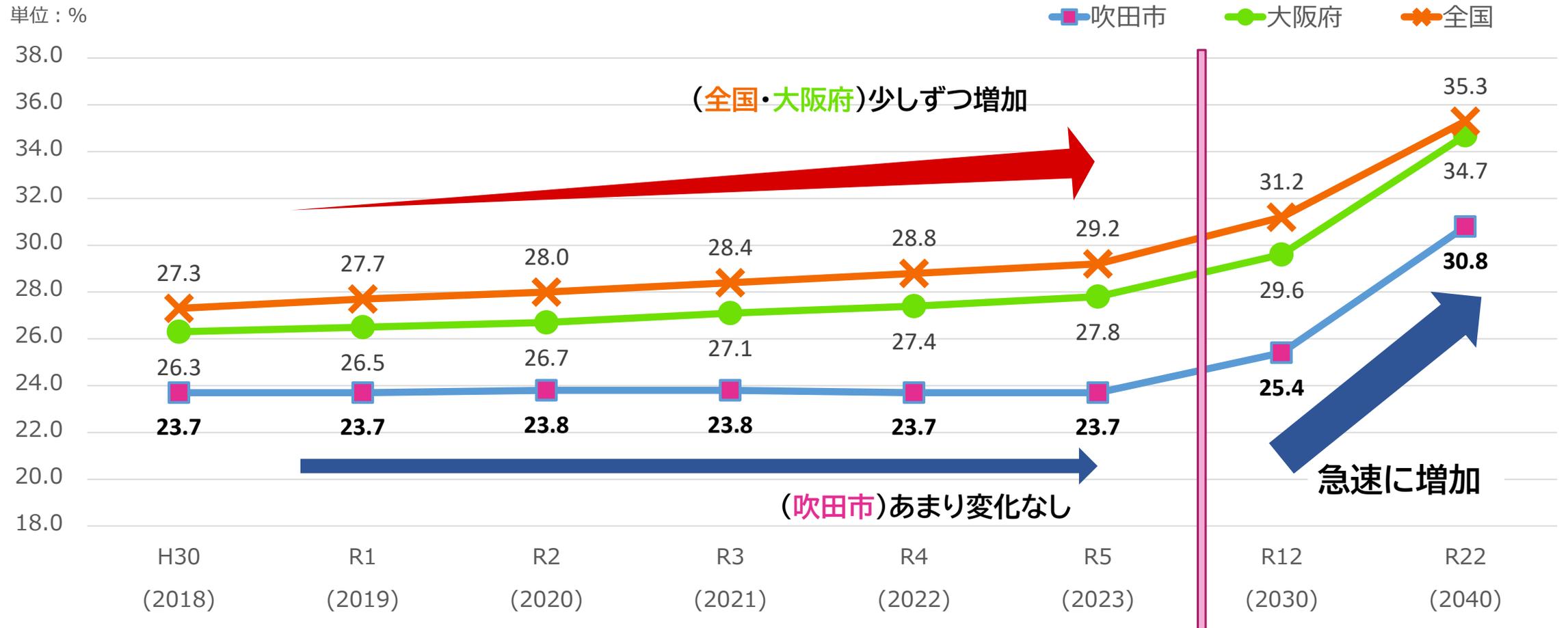
高齢化率（吹田市）



令和5年度まで：住民基本台帳（各年9月末現在）

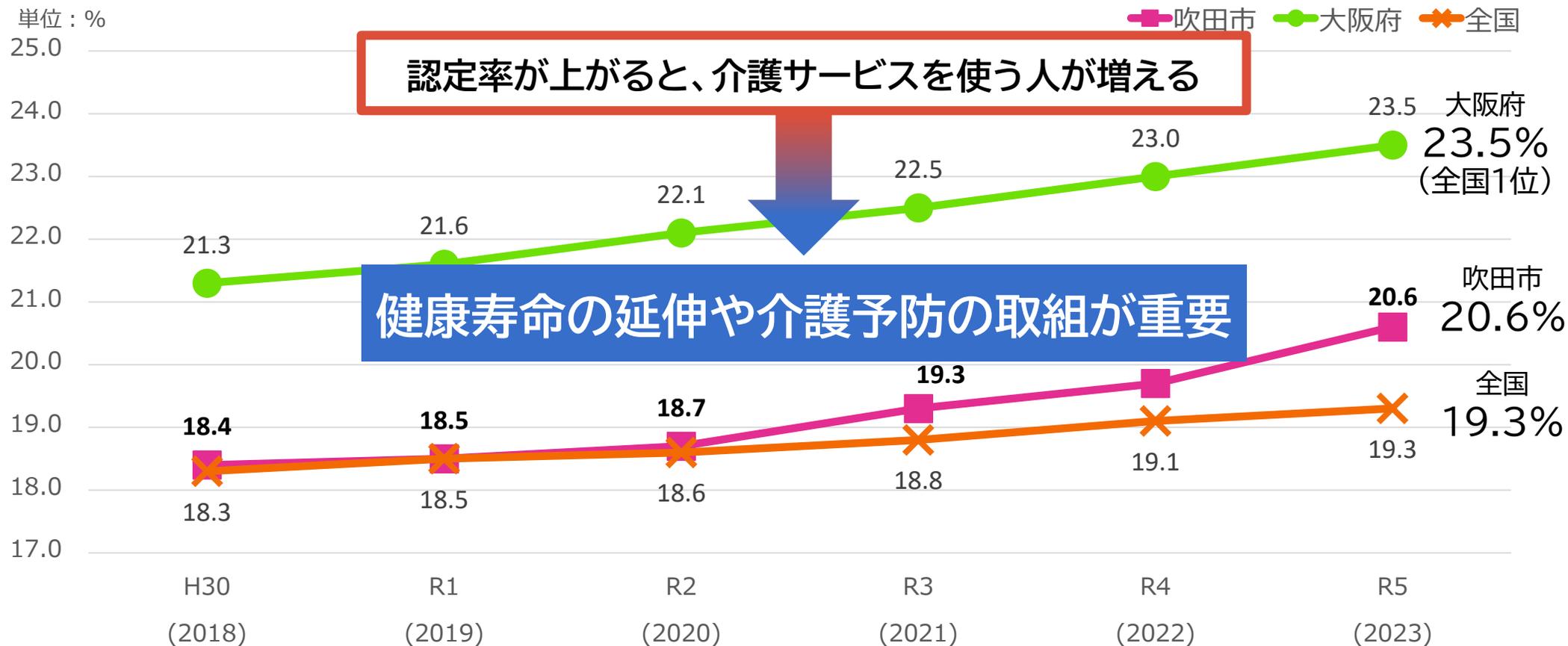
令和6年度以降：吹田市総合計画に基づく人口推計を元に、住民基本台帳の実績から推計

吹田市は高齢化率が全国・大阪府平均と比べて低い

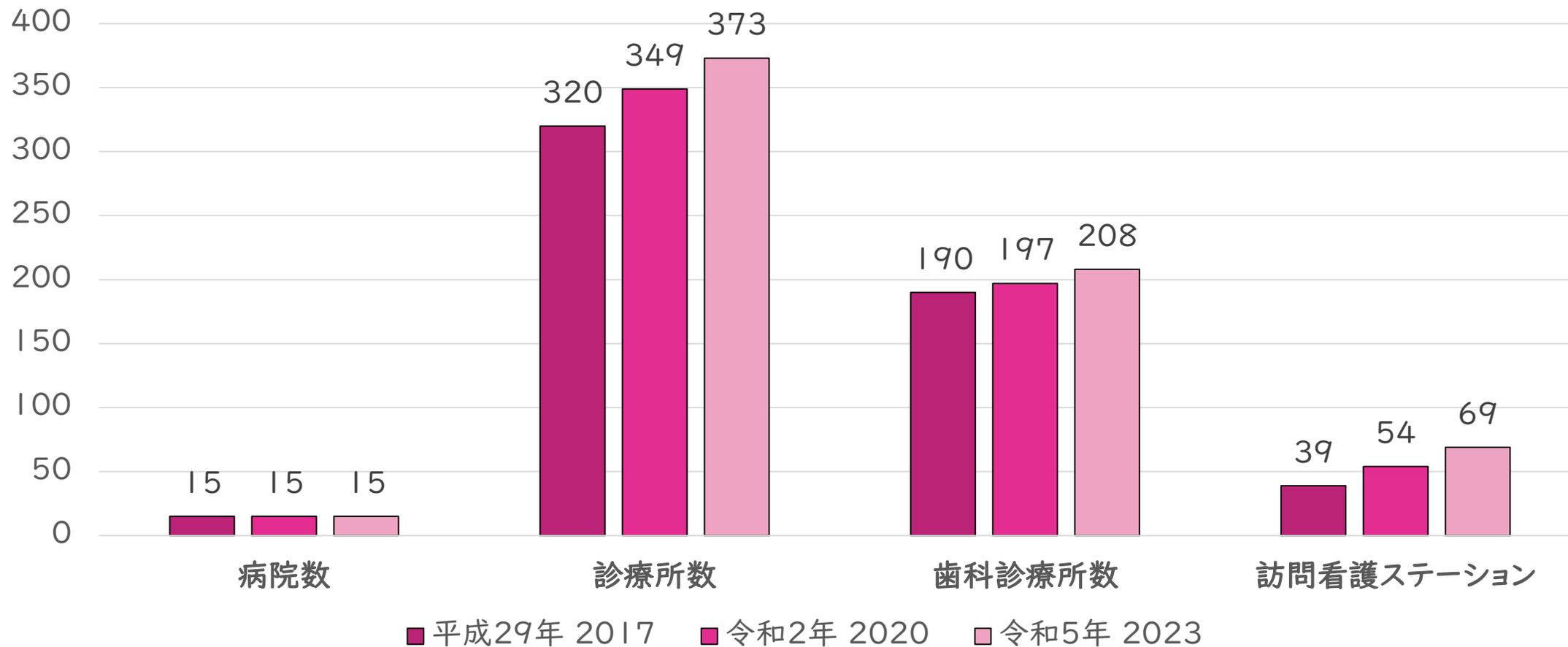


吹田市は認定率が大阪府平均より低い

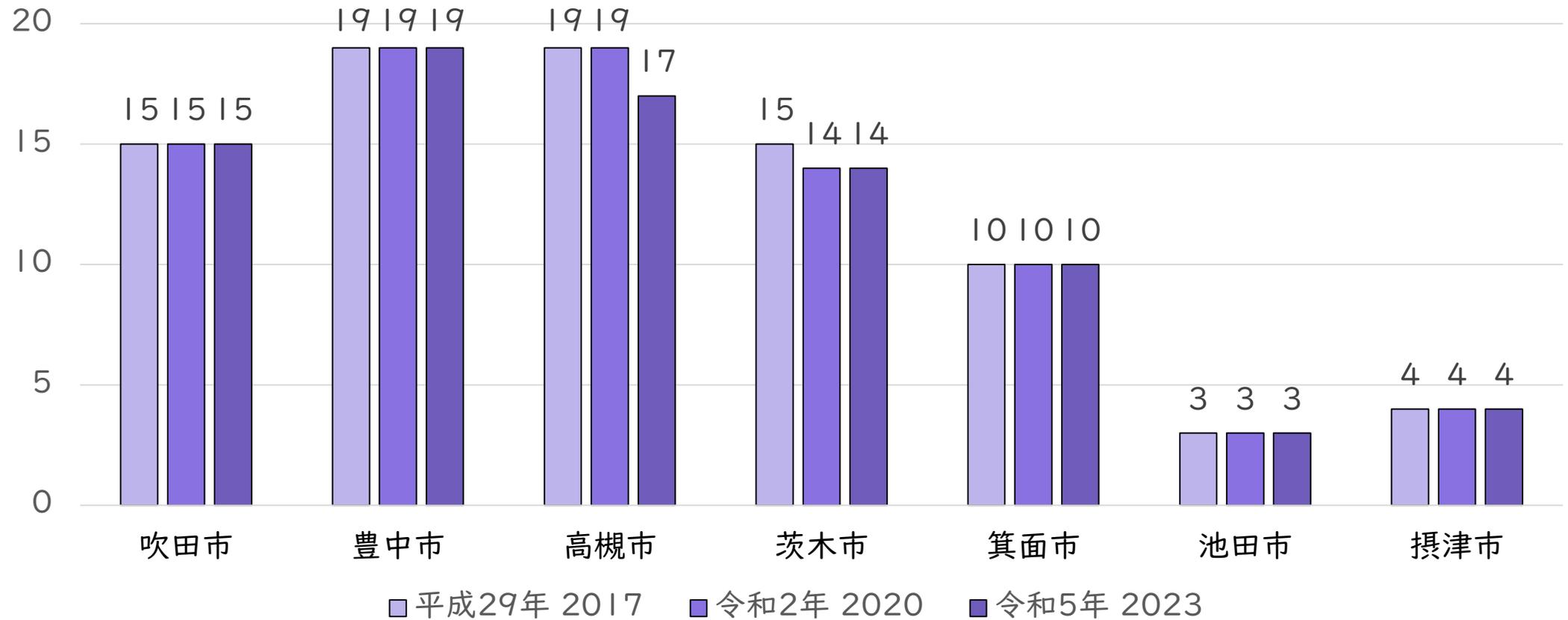
認定率とは、
65歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合



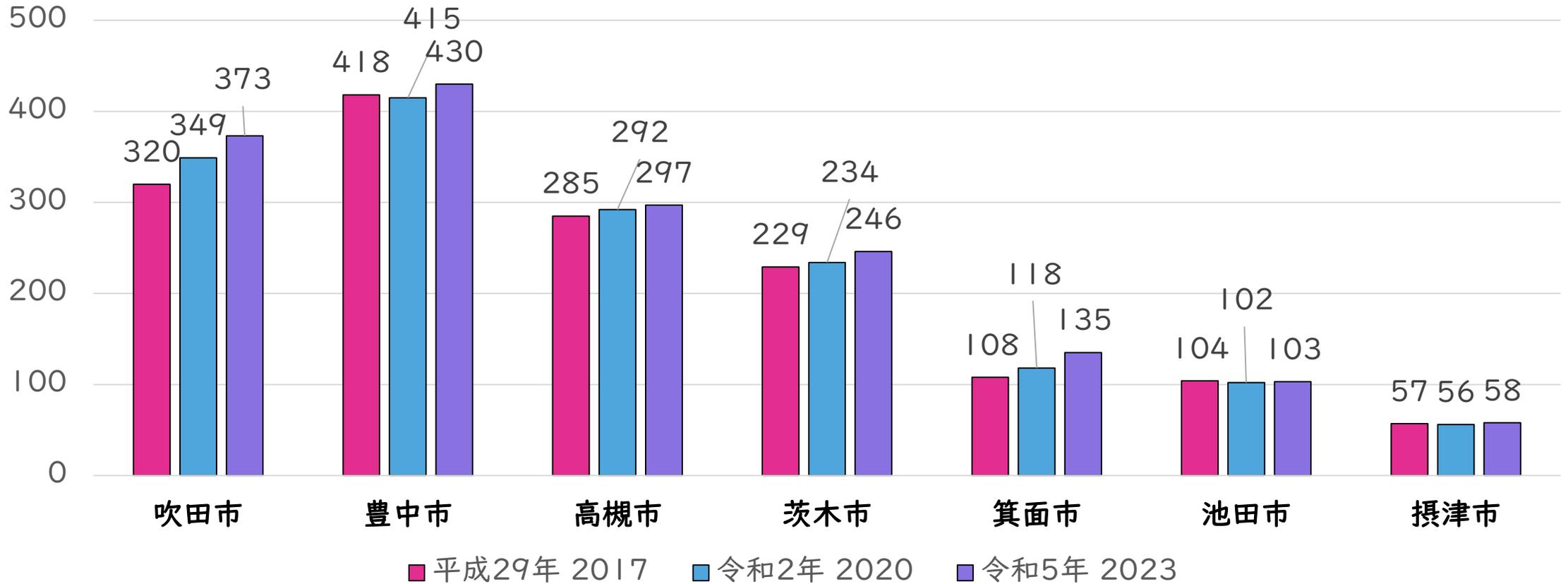
医療施設等数(吹田市)



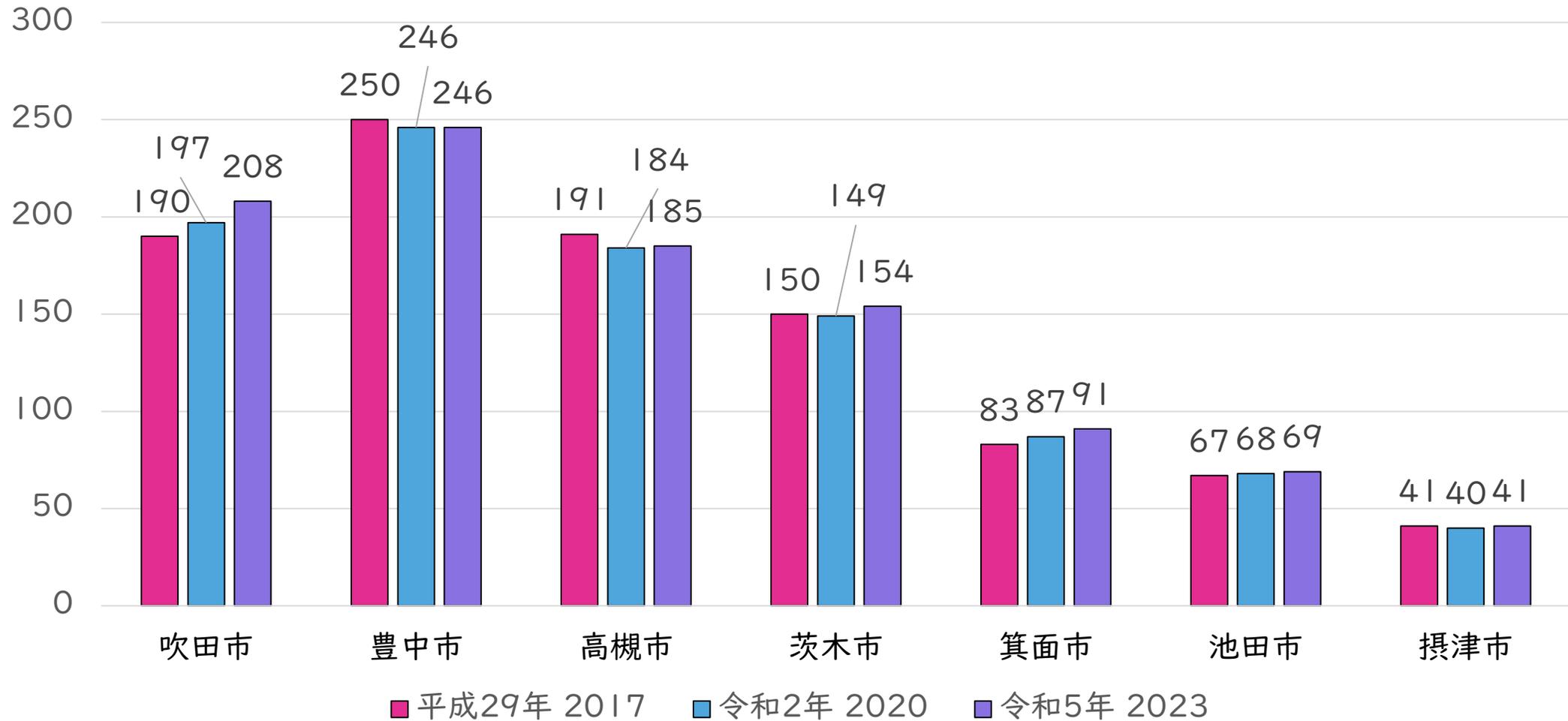
病院数（北摂7市）



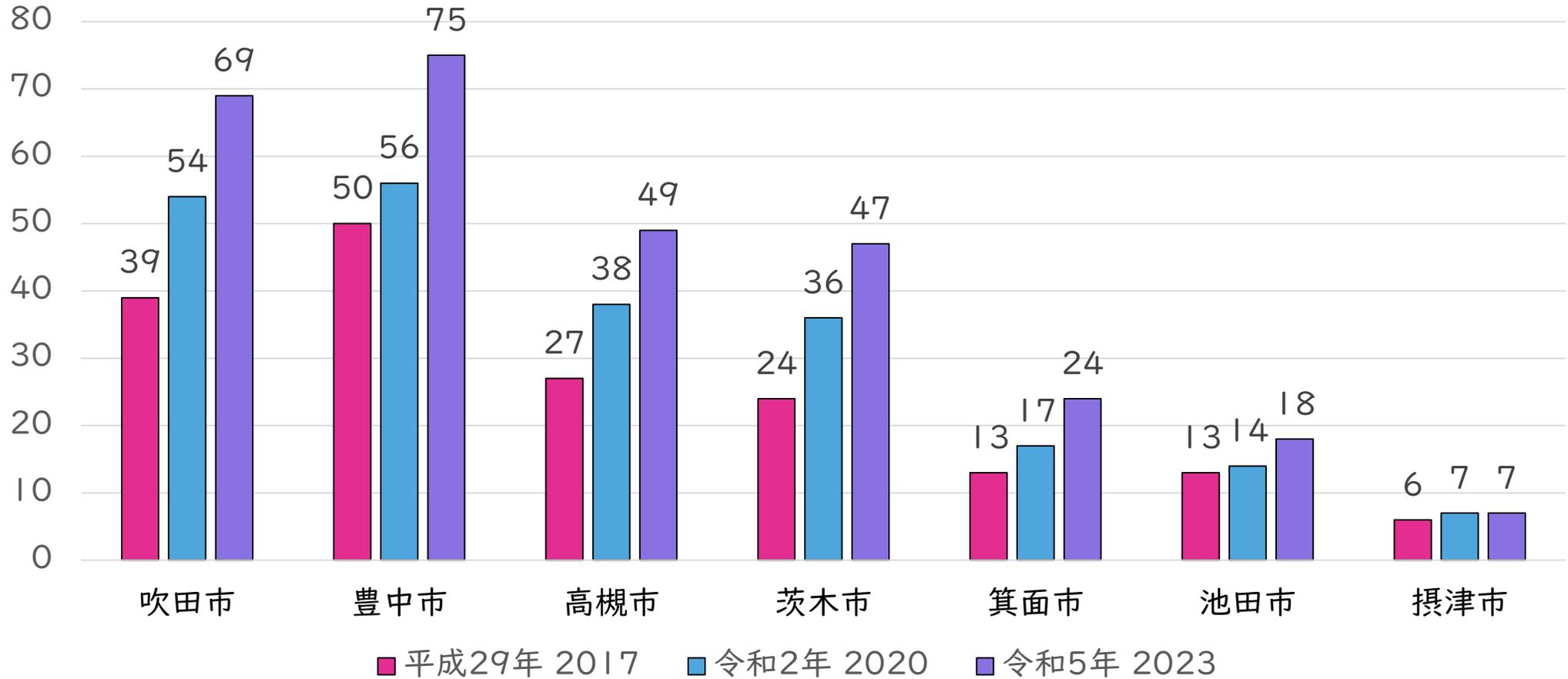
診療所数(北摂7市)



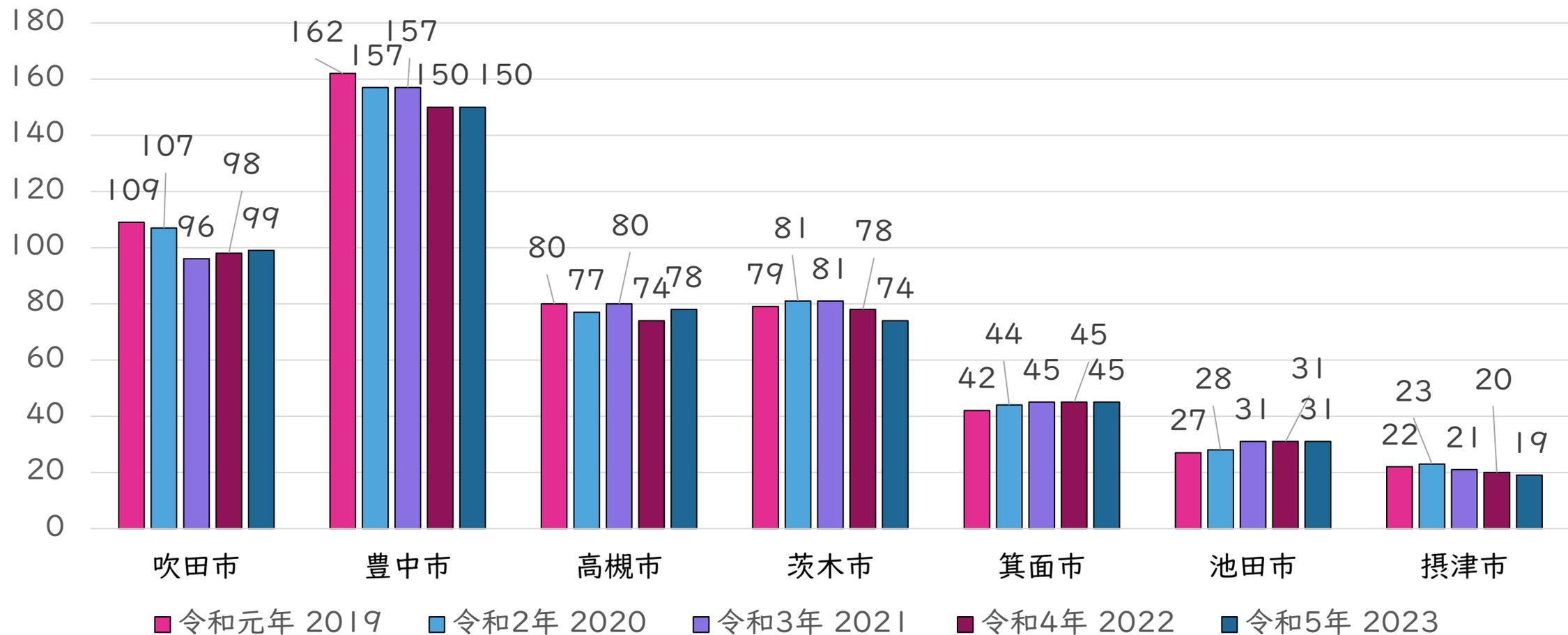
歯科診療所数（北摂7市）



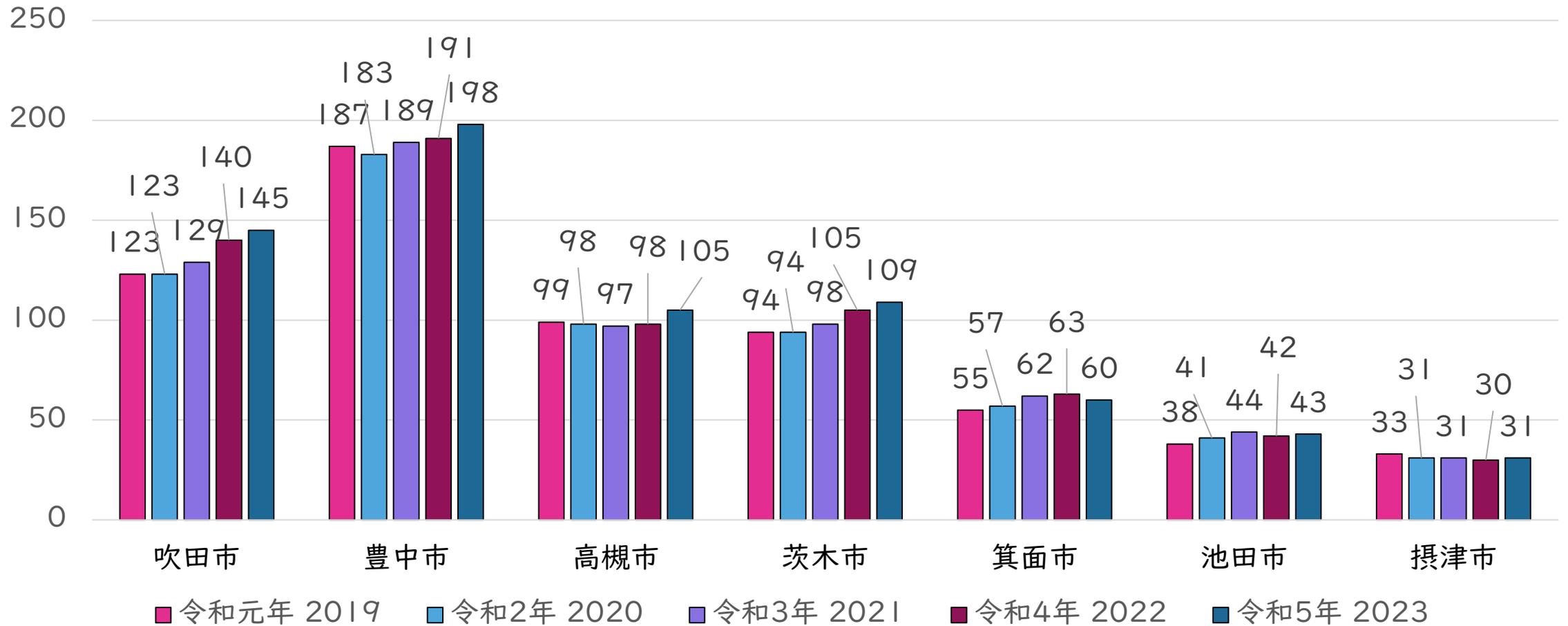
訪問看護ステーション数（北摂7市）



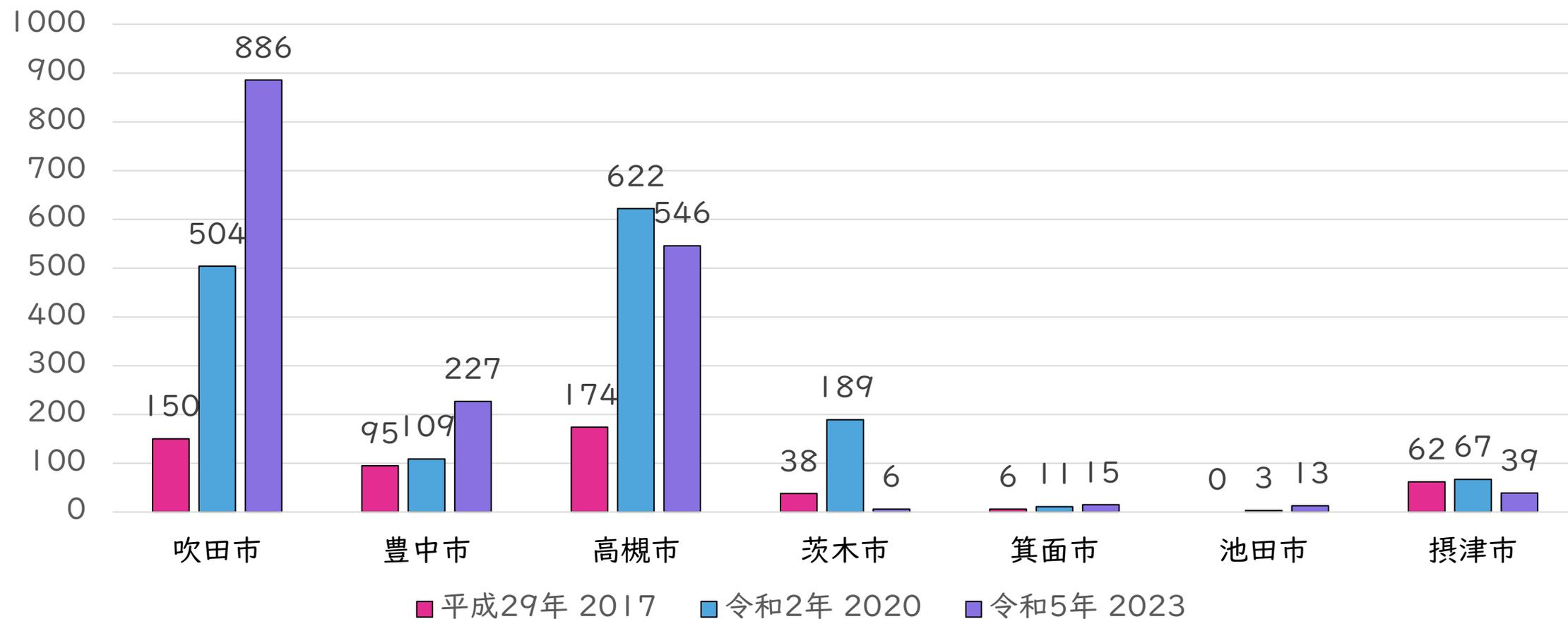
居宅介護支援事業所数(北摂7市)



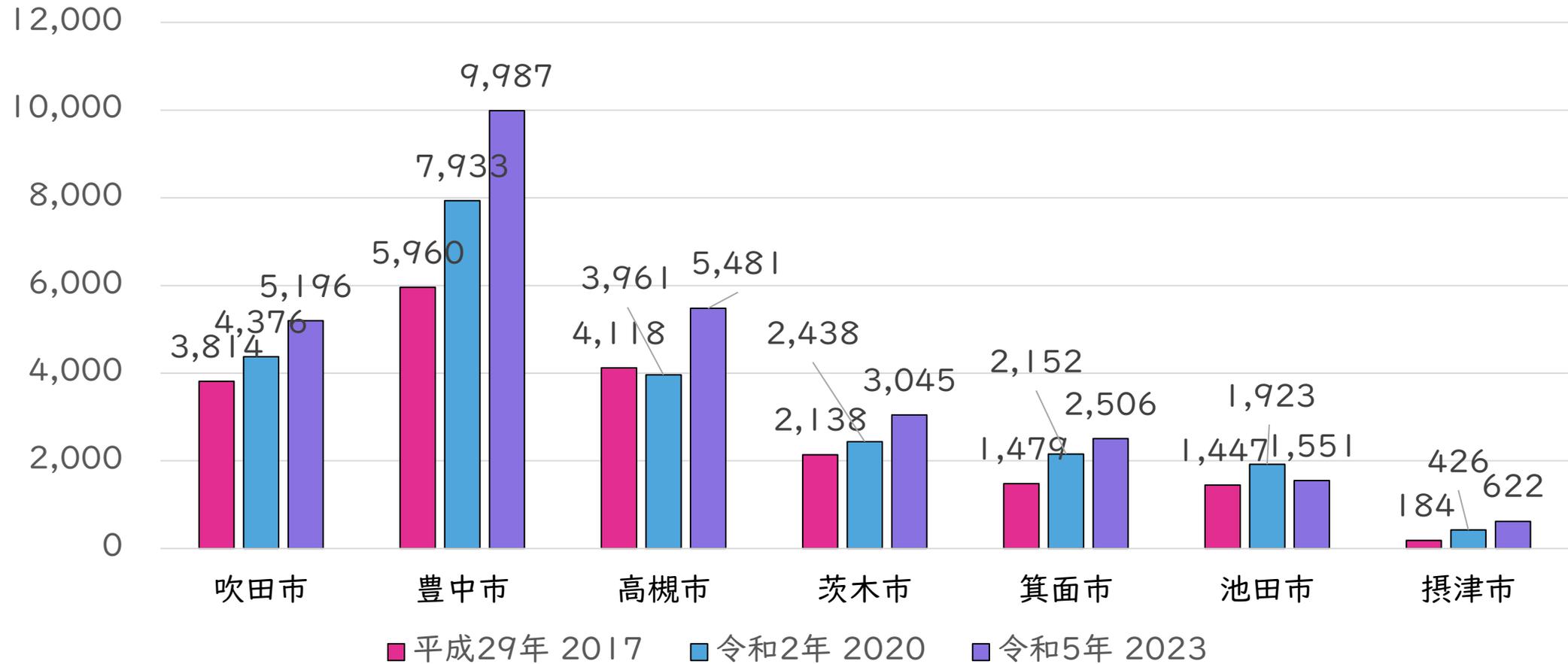
訪問介護事業所数（北摂7市）



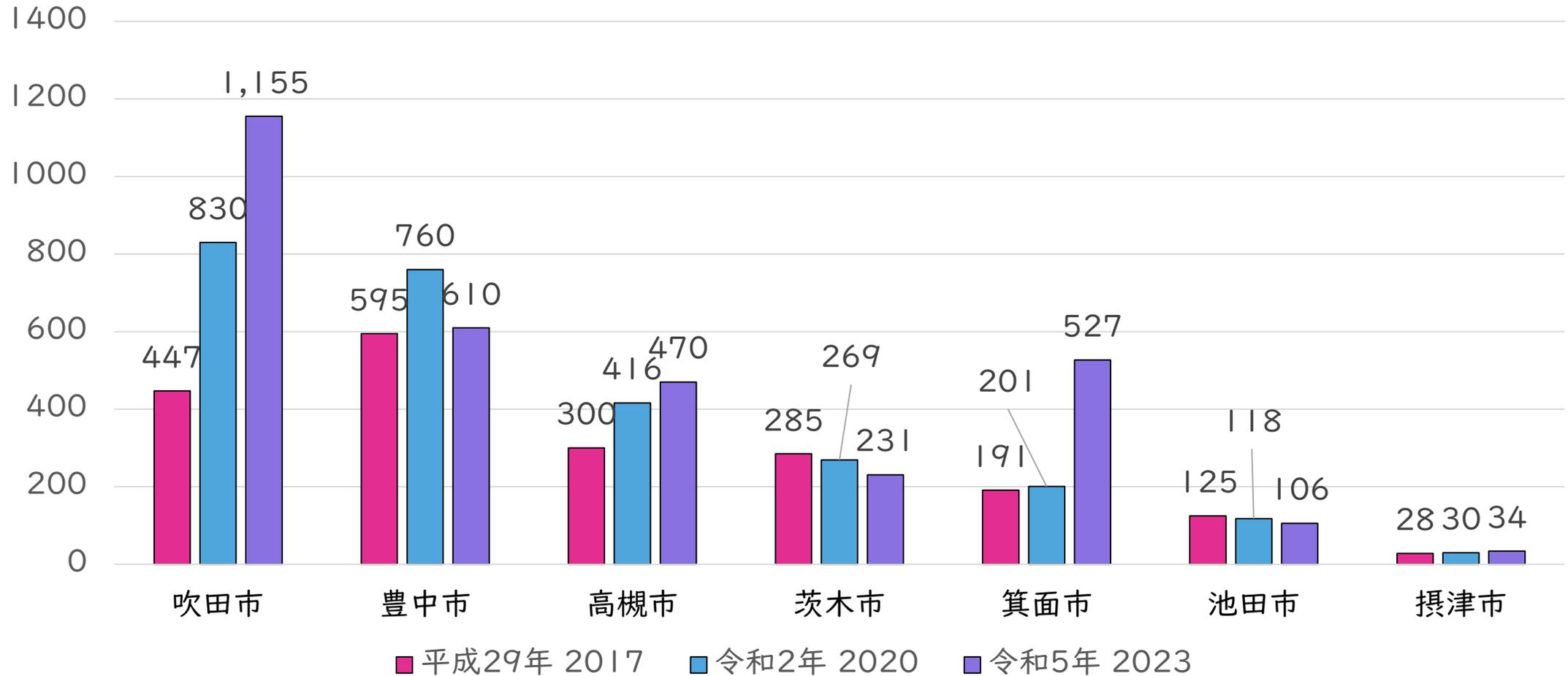
訪問診療を実施する病院〔実施件数〕（北摂7市）



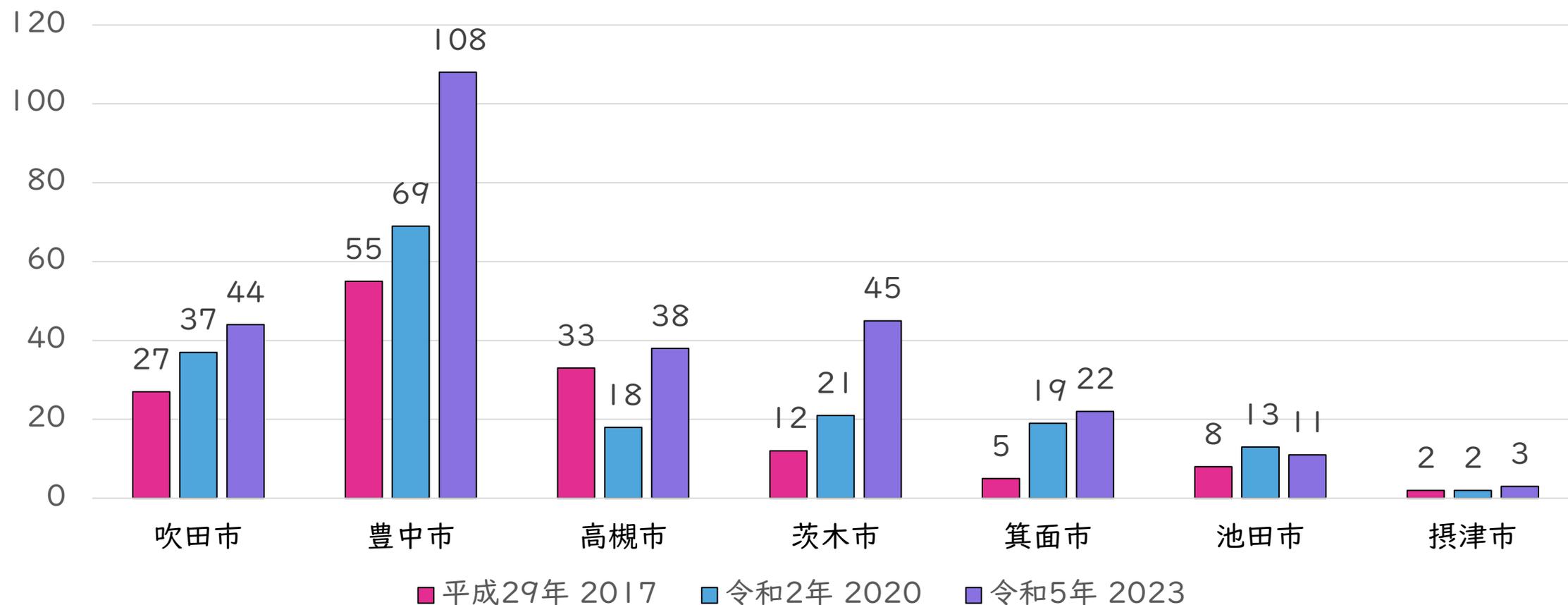
訪問診療を実施する診療所〔実施件数〕（北摂7市）



歯科訪問診療を実施する診療所〔実施件数〕（北摂7市）



看取りを実施する一般診療所〔実施件数〕（北摂7市）



居宅療養管理指導（第1号被保険者1人あたり給付月額）

